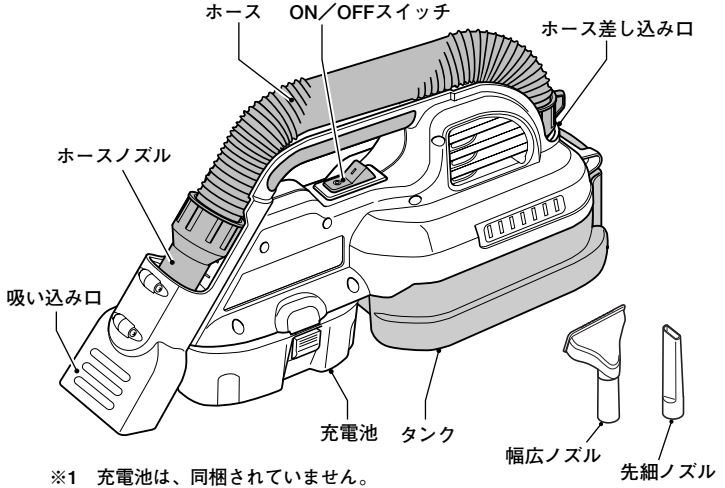
デウォルト電動工具
取扱説明書

DC515N
充電式乾湿両用クリーナ

製品の各部名称と仕様



※1　充電池は、同梱されていません。

こだわりのデウォルト... 強靭な作業場を提供します。

デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靭な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕　様

品　番	DC515N
電圧　※1	DC18V
集じん容量	1.9L
質量　※2	1.7kg

※1　充電池は、同梱されていません。
※2　本体質量には、充電池は含まれていません。

目　次

製品の各部名称と仕様 ……1
安全上のご注意 ……2
警告（電動工具を安全にお使いいただくために）……2
注意（電動工具を安全にお使いいただくために）……3
警告（充電式乾湿両用クリーナに関する安全上の追加事項）……3
警告（ニカド充電池と充電器に関する安全上の事項）……4
充電の手順 ……5
製品の特色と使用方法 ……7
メンテナンス ……10
アフターサービスについて ……10
充電電池と環境 ……10
アクセサリー ……10

安全上のご注意

⚠ 警告　正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告　この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意　この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

⚠　このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

⚠ 警告　電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

- **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電池を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしてください。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを 必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴 の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定の認定サービスセンターで修理してください。
- **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電池を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。**こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**デウォルト社製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがありますので使用しないでください。

⚠ 注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち 運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。
- **延長コードを使用する場合、電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。**

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
0.75mm²	20m
1.25mm²	30m

◆個人的な注意事項

- **常に注意して作業を行なってください。**電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **キチンとした服装で作業を行なってください。**そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧 めします。長髪の方は作業の邪魔にならないように帽子などをかぶってください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取りはずしてください。**スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取りはずされているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。**電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
  決してモーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注意 電動工具を安全にお使いいただくために。

- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かない乾燥したところに保管してください。**電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電池を別々に保管することも心がけてください。

◆工具の使用と手入れ

- **作業にあった電動工具を使用してください。**小型の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
- **指定された用途以外には使用しないでください。**けがの恐れがあります。
- **損傷部品を点検してください。**引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定の認定サービスセンターで修理または交換してください。
- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。**安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。握り部は常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。電動工具は常に手入れの行き届いた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- **電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。**修理、メンテナンス、調整は所定の認定サービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。**十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

⚠ 警告 充電式乾湿両用クリーナに関する安全上の追加事項。

- **爆発物や可燃性のガス、または液体のある場所で使用しないでください。**
- **研削や切断などに伴って発生する火花に対し使用しないでください。**
- **アスベストやケイ酸（シリカート）などの有害化学物質には、絶対に使用しないでください。**
- **本製品を爆発物、可燃性や中毒症状を起こす物質や液体（ガソリン等）に対し使用しないでください。**
- **髪の毛、弛んだ衣服、または身体の一部が可動部分に触れないようにしてください。**

⚠ 警告　充電式乾湿両用クリーナに関する安全上の追加事項。

- 本機の作動中に付属品を取り付けないでください。
- 本機をご使用になる際、排気出口や吸い込み口を障害物や手でふさがないでください。
- 本機のモーター駆動部分をけっして水や液体に浸けないでください。
- 本機はフィルターを取り付けた状態でご使用ください。
- 燃えている、もしくは煙の出ている状態の物質（例：吸いかけのタバコ、マッチ、燃えかけの灰）に対し使用しないでください。
- 表面が高温の状態の物質に対し、使用しないでください。
- **この取扱説明書に従って使用してください。**弊社の推奨する付属品のみご使用ください。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	・・・・・・・・・	電圧
⎓	・・・・・・・・・	直流
⧈	・・・・・・・・・	二重絶縁
⚠	・・・・・・・・・	注意
n_0	・・・・・・・・・	無負荷状態でのスピード
○○○ min^{-1}	・・・・・・・・・	1分毎の回転数

⚠ 警告　ニカド充電池と充電器に関する安全上の事項。

◆下記の注意事項を全てお読みください。

- **充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。**充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- **充電器は屋内のみで使用してください。**充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。また、濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- **充電器のコードや電源プラグ部分に損傷がある場合、**使用せず新しいものと交換してください。
- **充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、**所定の認定サービスセンターにお持ち込みください。

⚠ 警告　ニカド充電池と充電器に関する安全上の事項。

- **2個の充電器どうしを、けっして一緒に接続しないでください。**
- **導電体の物を充電器の充電端子に接触させないよう十分注意してください。**充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。
- **充電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。**充電器に破損した充電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。
- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードをキズつけることになります。
- **充電池は換気のよい場所で充電してください。充電中は充電池および充電器の上にものを絶対に置かないでください。また、柔らかいもの（例：綿、スポンジ等の材質）の上に充電器を置かないでください。**充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもりたいへん危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。
- **充電器を分解する試みは絶対にしないでください。**修理／メンテナンスは、所定の認定サービス・センターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- **充電器を掃除する際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。**これは感電を防止するために必要な事項です。充電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- **充電池を開ける試みは絶対にしないでください。**充電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- **周囲温度が＋4℃以下、及び＋40℃以上のときは充電池の充電を行なわないでください。**これは充電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- **電動工具や充電池を温度が50℃以上になる可能性がある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。**充電池劣化の原因となり、発熱、発火の恐れがあります。
- **使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。**充電池の液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告 ニカド充電池と充電器に関する安全上の事項。

- **充電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。**充電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は：

  ＊石鹸と水で直ちに洗い落としてください。

  ＊レモンジュースや酢などの弱酸性で中和してください。

  ＊電池液が目に入った場合は、きれいな水で少なくとも10分間洗い流してから、直ちに医師の診察を受けてください。（備考：この液体は水酸化カリウム25～35%溶液です。）

- **充電池の端子間を絶対にショートさせないでください。**ネジ、刃物、釘などの金属が充電池の充電用金属端子に接触してショートすると、発煙、発火、破裂などの恐れがあります。

- **充電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。**誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電池を充電してください。

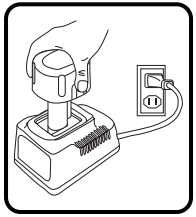
- **専用の充電池でのみ本製品をご利用ください。**他社製の充電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電池でのみ、本製品をご使用ください。

- **使用しないときは、電源プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。**

- **「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。**

充電の手順

◆充電のしかた（１時間充電器）



(1) 充電器の定格板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認してください。家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。

(2) 充電池を充電器の差込み口に差込んでください。充電池がしっかりと差込み口にはまっているか確認してください。充電器が充電を始めると、赤い点滅灯が点滅しはじめます。これは、「充電中」を意味します。

(3) 充電池の充電は約１時間で完了します。(2.4Ah充電池の充電には約70分を要します)。充電が完了すると、点滅灯が光ったままになります。これは「充電完了」を意味します。

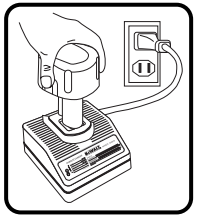
<チューンナップ充電>（1時間充電器のみ）

充電池は充電および放電を繰り返すうちに、複数個ある内部セルの充電状態がそれぞれ不均一となり、本来持っている性能を十分発揮できなくなることがあります。チューンナップ充電を行なうことにより、各セルの充電状態を均一化させ、本来持っている性能を発揮できるようにし、寿命を最大限に引きのばすことが可能です。充電池を最適な状態に維持するためには、10回の充電ごとに1回または、1回の充電で以前と同様の作業が行なえなくなった時にはいつでもチューンナップ充電を行なうことをお勧めします。このチューンナップ充電には約8時間を要します。チューンナップ充電を行なうには、本体に黄色いチューンナップ・ボタンがあるタイプの充電器の場合はそのボタンを押してください。また、チューンナップ・ボタンが無いオートマチックタイプの充電器の場合は、通常通りの充電が完了した後、充電池を充電器から取り外さずにそのままセットしてください。チューンナップ充電機能は次の順序で作動します。

(4) 通常の1時間充電の完了後、自動的にチューンナップ充電を開始します。(赤い点滅灯は点灯したままです) このチューンナップ充電は最長約8時間または、各個別のセルの充電状態が均一化されるまで継続します。チューンナップ充電中でも充電池の充電は完了しておりますので、いつでも充電器から取り外してご使用頂くことができます。

(5) チューンナップ充電の完了後、充電器は自動的にメインテナンスモードに移行します。(赤い点滅灯は点灯したままです) メインテナンスモードではトリクル（微少）充電により常に充電池を満充電の状態に維持します。ただし、メインテナンスモード中に充電器の電源プラグをコンセントから外した場合には、この機能は作動しません。充電池は長時間放置したままにすると、少しずつ自己放電しますので、ご使用の前に充電を十分にしてください。

◆充電のしかた（急速充電器）



（1）充電器の定格板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認してください。家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。電源プラグの挿入後、充電器は２回「ピ、ピ」と音を発し、同時に点滅灯が1回点滅して通電されたことをお知らせします。

（2）充電池を充電器の差込み口に差込んでください。充電池がしっかりと差込み口にはまっているか、確認してください。充電器が充電を開始後、1回「ピ」と音を発し、同時に赤い点滅灯が点滅しはじめます。これは、「充電中」を意味します。

（3）充電池の充電は通常 15分以内で完了します（2.0Ah充電池：18分、2.4Ah充電池： 23分）。充電が完了すると、3回「ピーピーピー」と音を発し、同時に点滅灯が光ったままに なります。これは「充電完了」を意味します。

（4）充電完了後、充電池を充電器にセットしたままにすると充電器は充電池セルの充電状態のバラツキを均一化させます。（赤い点滅灯は点灯したままです）これにより、充電池を最適な状態に維持することが可能です。この均一化には約4時間かかりますが、その途中でも充電池の充電は完了しておりますので、いつでも充電器から取り外してご使用頂くことができます。

（5）充電池セル均一化の完了後、充電器は自動的にメインテナンスモードに移行します。（赤い点滅灯は点灯したままです）メインテナンスモードではトリクル（微少）充電により常に充電池を満充電の状態に維持します。ただし、メインテナンスモード中に充電器の電源プラグをコンセントから外した場合には、この機能は作動しません。充電池は長時間放置したままにすると、少しずつ自己放電しますので、ご使用の前に充電を十分にしてください。

（6）弱った充電池を探知した場合、充電池を挿入後、約10秒で8回「ピー」と音を発してお知らせします。その後、通常どおり充電を続行します。急速充電器は弱った充電池を自動的に探知する機能をもっています。弱った充電池は続けてご使用になれますが、以前のような力を発揮しなくなります。

◆充電池の過熱探知機能（１時間充電器、急速充電器）

充電池が過度に熱くなるのを防止する機能をそなえています。充電池が過度に熱くなった場合、充電器は一時的に充電を中止しますので、充電池の寿命を最大限に引き延ばします。このとき、赤い点滅灯が1回長く点滅し、2回目に短く点滅することをくり返します。充電池の温度が下がった後、充電器は自動的に充電を再開します。

◆充電池のトラブル探知機能（1時間充電器、急速充電器）

（1）充電池のトラブルを探知する機能をそなえています。充電池になんらかの故障が生じた場合、赤い点滅灯が通常より早く点滅してお知らせします（急速充電器は継続的に警告音も発します）。

（2）この場合、充電池を一度充電器からはずし、もう一度差込んでください。

（3）同じ状態が続いた場合、異なる充電池を充電器に差込み、充電器が故障しているか一度確認してください。

（4）異なる充電池が充電された場合、最初の充電池になんらかの故障が発生したことを意味します。

（5）故障した充電池は、お買い求めの販売店または所定の認定サービスセンターにお持ちください。

◆温度制御装置(急速充電器)

充電器の温度が設定された温度を超えると、一時的に充電を中止します。この時、充電器上の黄色いライトが点灯してお知らせします。この場合、充電時間は15分を超えることがあります。高温になるのを防ぐために、充電器の上にものを置いたり、太陽直下や熱のあるところで充電器を使用しないでください。設定された温度以下に下がると、充電器は通常どおり充電を再開します（この時、充電器上の黄色いライトは消えた状態です）。

◆電源のトラブル探知機能（１時間充電器）

電源のトラブルを探知する機能をそなえています。簡易発電機や、DC（直流）をAC（交流）に変換する装置に充電器を接続してお使いの場合、充電器は一時的に充電を中止する場合があります。このとき、赤い点滅灯が早く2度点滅し、一呼吸おいて再び二度点滅することを繰り返します。充電器の定格板に表示してある電源とコンセントの電源が一致していることを確認し、適格な電源のコンセントに接続してください。

◆充電がうまく行われないときは

（1）電源コンセントに電灯などの他の電気器具を接続して、確実に電流が来ているかを調べてください。

（2）電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認してください。

（3）周囲温度が十4℃以上、および十40℃以下の環境下で充電を行なったか確かめてください。

（4）それでも充電されないときには、お買い上げの小売店にお買い上げの時のレシートなどと一緒にご持参のうえご相談ください。

⚠充電上の注意事項

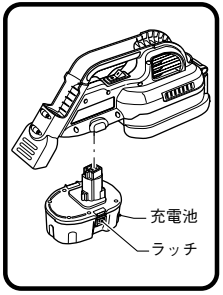
- 充電中、充電器と充電池は触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。
- 充電池を充電していないとき、充電器のプラグは電源コンセントからはずしておいてください。スチール・ウール（鉄綿）、アルミホイル、その他の金属切り粉等により、充電器の充電端子が短絡する危険性があります。また、これらの材質からはなれた場所で充電器を使用することを心がけてください。充電器のプラグは電源コンセントからはずした状態で、これら異物を取り払ってください。
- どんな液体も充電器内に入らないように気をつけてください。感電を引き起こす可能性があります。充電池の冷却を容易にするため、ご使用の後、充電器と充電池は高温になる場所で保管しないでください。
- NiMH（ニッケル水素）充電池を充電される際は、ニッケル水素充電池専用の充電器をご使用ください。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、ただちに使用を中止し再充電してください。無理に使い続けると充電池が傷み寿命を短くします。
- ご購入後最初の充電および長期間保存してあった充電池は、内部化学物質の活性が十分でなく、その容量の80%程しか充電できないことがあります。その場合には充電および放電を数回繰り返すことにより、100%充電できるようになります。
- この充電器は、お客様がご自身で修理することはできません。ご自身で充電器を開けられると静電気が発生し内部部品が故障する可能性があります。かならず所定の認定サービスセンターの有資格者に修理／メンテナンスを依頼してください。

製品の特色と使用方法

⚠ デウォルト社製ニカド充電池は充電されていない状態で出荷されます。最初にご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。

⚠ご使用になる前に必ず取扱説明書を読み、指示に従ってください。
本機は、18Vの充電池で作動する乾湿両用集じんです。

◆充電池の取り付け方/取りはずし方



⚠充電池を工具に取り付ける前に、必ずON／OFFスイッチがOFFになっていることを確認してください。また充電池を取り付けた後は、確実に充電池が固定されていることを確認してください。

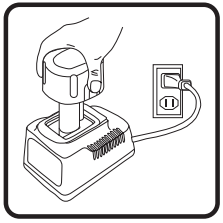
充電池の取り付け方法

左図のように、充電池を本体下側から差し込んでください。
その後、充電池が確実に本体に取り付いているか確認してください。

充電池の取りはずし方法

充電池の両側についているラッチを押しながら、本体から充電池を取りはずしてください。

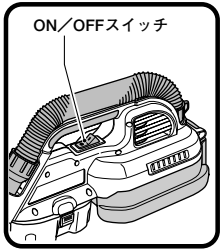
◆再充電



いつものような仕事をさせたときに本機が力強く作動しない場合は絶対に使用せず、再充電してください。以前に少しだけ使用した充電池も、ご使用の前に再充電することを心がけてください。

◆ON／OFFスイッチ

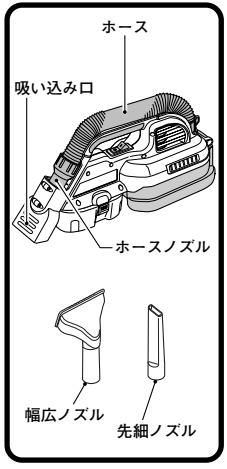
⚠本機を使用する際は、必ずフィルターを取り付けた状態でご使用ください。



本機を使用するには、電源スイッチ「I」に合わせてください。

本機をOFFにするには、電源スイッチを「O」に合わせて下さい。

◆吸引方法



(1) ご使用前にタンクの中のゴミを取り除いてください。

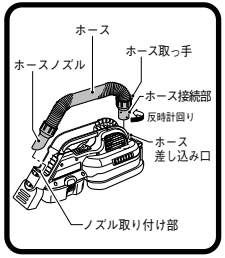
(2) 本体にホースが確実に取り付いているか、確認してください。

(3) 吸い込み口を吸引する場所に向けます。
必要に応じて、本体からホースノズルを取りはずして使用してください。また、吸引する場所に合わせてホースノズルにアクセサリー（幅広ノズル、先細ノズル）をつけてください。

(4) ON／OFFスイッチをONにします。

⚠乾燥ゴミと液体を同時に吸い込むことは、お勧め致しません。
吸い込む物質（ゴミ）が変わるたび、タンクに溜まったゴミを捨てることをお勧めします。
タンク内で違う物質のゴミが混ざることで廃棄の際分別が必要となったり、液体物質と乾燥物質が混ざることで清掃が困難になったりする場合があります。

◆ホース



⚠ホースは、本機上部に収納されています。

ホースの取りはずし方

(1) ＯＮ／ＯＦＦスイッチが、ＯＦＦであることを確認してください。

(2) ノズル取り付け部から、ホースノズルを取り出します。

(3) ホース接続部についているホース取っ手を、反時計回りにまわしてください。
このとき、本機の後ろの溝にホース取っ手を合わせてください。

(4) タンク口からホース接続部を引き出します。

⚠タンク口からホース接続部を外すとき、力を必要とすることがあります。このときホース部を持たず、必ずホース接続部を持って引き出してください。

ホースの取り付け方

(1) ホース接続部を、ホース差し込み口に差し込みます。このとき、ホース取り付け部についている凸部と、タンク口の凹部を合わせます。

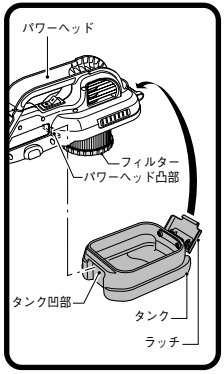
(2) ホース取っ手を持って、時計回りにまわしロックします。

(3) ホースが確実に取り付いているか確認してください。

◆ゴミの取り出し方

⚠ゴミを取り出す前に、必ず充電池を抜いてください。

定期的にタンクの中のゴミを捨ててください。
ゴミが溜まると吸引力が弱くなる場合があります。



乾燥ゴミの場合

(1) ラッチを外してください。
(2) タンクからパワーヘッドを外してください。
(3) タンクの中のゴミを取り除き、タンクの中を清掃してください。(P9　タンクの清掃　参照)
(4) フィルターとダストフィルターをきれいにしてください。
(5) その際、パワーヘッドの凸部をタンクの凹部に引っ掛けてからラッチを留めてください。

液体の場合

(1) ラッチを外し、パワーヘッドを外してください。
(2) タンクに溜まった液体をこぼさないよう気をつけながら排水し、タンクを清掃してください。
(3) フィルターとダストフィルターをきれいにしてください。
(4) パワーヘッドを取り付けラッチを留めてください。その際、パワーヘッドの凸部をタンクの凹部に引っ掛けてからラッチを留めてください。

⚠排水する際は、お住まいの地域の環境方針に従ってください。
腐りやすい液体を吸引した場合は、即時にダストケースタンクに溜まった液体を捨てタンクとフィルターの掃除を行ってください。

◆パワーヘッドの掃除

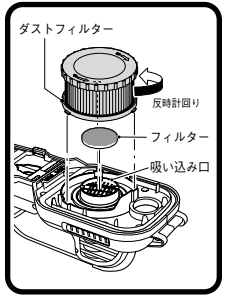
充電池を抜き、柔らかい布でから拭きをしてください。

◆タンクの清掃

使用後は、吸引したゴミをタンクから取り除きタンクを掃除するよう心がけてください。

(1) タンクからゴミを取り除いてください。
(2) 中性洗剤を柔らかい布につけ、汚れている部分を拭いてください。
(3) 中性洗剤で拭いた後、必ず湿った布で水拭きをしてください。
(4) タンクを乾かしてから、パワーヘッドに取り付けてください。

◆フィルターの清掃



使用後は、その都度ダストフィルターとフィルターを掃除するよう心がけてください。
ダストフィルターやフィルターが損傷した場合は、必ず取り替えてください。

(1) パワーヘッドに取り付いているフィルターを図のように反時計回りに回転させ、ダストフィルターを取りはずしてください。
(2) ダストフィルターとフィルターを軽くたたき、余計なホコリを払い落としてください。
(3) 必要に応じて、ぬるま湯でダストフィルターとフィルターをさっと水で洗い流してください。洗った場合は、必ずしっかりと乾かしてから使用してください。
(4) フィルターを吸い込み口に設置してください。
(5) ダストフィルターの凸部と吸い込み口の凹部を合わせ、時計周り回転させ吸い込み口にダストフィルターを取り付けてください。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体が入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定の認定サービスセンターにて有資格者が純正部品を使用して行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または所定の認定サービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

♻充電電池と環境

デウォルト社製コードレス電動工具に使用している充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

(1) 充電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電池を交換する（ニカド充電池には寿命があります）。

(2) 使用後は捨てないで、充電式電池リサイクル協力店または所定の認定サービスセンターにお持ちください。

⚠使用済み充電池のお取扱の際は、下記注意事項をお守りください。
・プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
・充電池を分解しないでください。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくはデウォルト・サービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、デウォルト電動工具までご連絡ください。

⚠当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

MEMO

MEMO

MEMO

総販売元：マックス株式会社

MAX®
マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041 札幌市中央区大通東６－１２－８	TEL(011)261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東２－１－２９	TEL(022)236-4121㈹
東京支店	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町６－６	TEL(03)3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025 名古屋市東区徳川１－１１－２３	TEL(052)935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004 大阪市福島区玉川１－３－１８	TEL(06)6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035 広島市西区南観音７－１１－２４	TEL(082)291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006 福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824 盛岡市東安庭２－１０－３	TEL(019)621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933 宇都宮市簗瀬町２３１３	TEL(028)636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871 柏市若柴２９７－１２	TEL(04)7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022 立川市錦町５－１７－１９	TEL(042)528-3051㈹
水戸営業所	〒310-0043 水戸市松ヶ丘２－３－２７	TEL(029)255-3761㈹
浜松営業所	〒433-8117 浜松市高丘東２－２２－１５	TEL(053)439-3300㈹
神戸営業所	〒650-0017 神戸市中央区楠町６－２－４	TEL(078)367-1580㈹
南九州営業所	〒891-0115 鹿児島市東開町３－２４	TEL(099)269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081 三条市東裏館２－１４－２８	TEL(0256)34-2112㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844 前橋市古市町２３３－５	TEL(027)210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823 さいたま市北区日進町３－４２１	TEL(048)651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001 四街道市大日１８７０－１	TEL(043)422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822 横浜市旭区さちが丘７－６	TEL(045)364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033 松本市笹賀８１５５	TEL(0263)26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247 長野市青木島１－３５－１	TEL(026)285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036 静岡市駿河区敷地１－３－２６	TEL(054)237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061 金沢市森戸２－１５	TEL(076)240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827 富山市上飯野字樋向割１０－８	TEL(076)452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237 福井市和田東２－１７１１	TEL(0776)27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414 京都市伏見区竹田段ノ川原町９	TEL(075)645-5061㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971 岡山市野田３－２３－２８	TEL(086)246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056 高松市上天神町７６１－３	TEL(087)866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0863 徳島市安宅２－４－４６	TEL(088)623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951 松山市天山２－１－３５	TEL(089)913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041 札幌市中央区大通東６－１２－８	TEL(011)231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002 仙台市若林区卸町東２－１－２９	TEL(022)237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031 高崎市上大類町４１２	TEL(027)350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823 さいたま市北区日進町３－４２１	TEL(048)667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025 名古屋市東区徳川１－１１－２３	TEL(052)935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004 大阪市福島区玉川１－３－１８	TEL(06)6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035 広島市西区南観音７－１１－２４	TEL(082)291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006 福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL(092)451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） **0120-228-358**
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

040714-00/00